

## 統計解析ソフト SPSS 利用の環境

- ア. サーバによりライセンス管理されている SPSS を、学内ネットワークに接続されているパソコンであればどのマシンからでも使用することができます。
- イ. 契約している利用可能ソフトは次のとおりです。

SPSS for Windows Base  
SPSS Regression Models(R)  
SPSS Advanced Models(A)  
SPSS Tables(T)

“同時”利用者数は 25 ユーザです。

なお、2020.9 に下記ソフトを追加購入しました。

SPSS Exact Tests  
SPSS Categories  
SPSS AMOS<br

“同時”利用者数は 10 ユーザです。

- ウ. SPSSを利用するにあたり、学内サーバへの利用者の登録が必要です。  
登録できる利用者は本学のネットワーク利用が許可されていて、かつ本学の電子メールアドレスを使用できる者に限ります。✕
- エ. 備品番号が HN20×××のクライアントマシン(個人研究室、共同研究室、大学院等)は既にインストール済となっています。  
但し、ご使用マシンにおける設定が必要となりますので、下記「利用申込書」を情報システムセンターまでご提出の上、設定日時をご指示ください。
- オ. 処理対象となるデータはできる限り外部メディアなどにて各自が保存・保管願います。  
マシンへの常駐はできるだけ避けてください。  
故意または過失による常駐データの損壊についてはその責を負いかねます。

※どなたでも自由に利用できる環境ではユーザ数によるロックがシステム的に頻繁におこる可能性があります。

利用登録が完了しましたら、メールにてお知らせします。